



多職種連携がさらに前進！ 歯科衛生士 2名入職しました



歯科衛生士がチームの一員として加わることで、多職種が連携しながらお口の健康を支え、より安心して質の高い医療を目指します。



回復期リハビリテーション病棟
金城 静香

このたび、沖縄リハビリテーションセンター病院ちゅうらうみホールへ入職いたしました、歯科衛生士 (DH) の金城と申します。これまでは地域の歯科医院で勤務しており、小さなお子様から年配の方まで、様々な悩みに携わってきました。現在は口腔内チェックや口腔ケア以外にも、口から美味しく食べるための摂食嚥下訓練などに参加させていただいております。入院中の患者さまは口の中に悩みがあっても遠慮してしまいがちです。まずは相談できることを知ってもらい、ひとりひとりの健口と安心を目標にまい進してまいります。



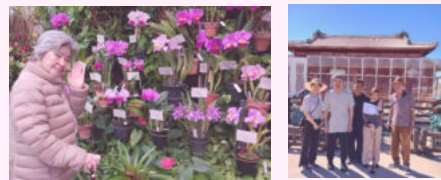
介護老人保健施設 亀の里
呉屋 奈美子

初めまして。昨年9月より介護老人保健施設亀の里で歯科衛生士として勤務しております。前職は歯科医院に勤務しておりましたが、高齢者施設における口腔ケアの重要性を強く感じ、亀の里へ入職いたしました。当施設では入所者様一人ひとりの口腔内の状態に合わせ、食物残渣やプラークの除去、舌清掃、口腔粘膜のマッサージ、お口の体操、義歯の清掃・管理、自己ケアの支援を行っています。多職種と連携し、訪問歯科医師の診察補助も担当しております。お口の健康は、食事や会話を楽しむ力を支えるだけでなく、誤嚥性肺炎の予防など全身の健康にも深く関わっています。入所者様が安心して「食べる」「話す」喜びを感じられるよう、丁寧で継続的な口腔ケアを提供してまいります。

動機づけが繋がる良い循環へ！

生きがい支援 <外出支援企画>

百歳堂デイケアセンター
豊川 千秋



百歳堂では、利用者の皆様が生きがいを持ち、意欲的にリハビリへ取り組める環境づくりに力を入れています。その取り組みの一つが「生きがい支援」です。ご本人の「やりたいこと・行きたい場所」をもとに多職種で目標を共有し、日々の生活リハビリにつながらながら外出企画を行っています。

ある利用者様は、「蘭の花が見たい！洋蘭博覧会に行きたい！」と希望されました。歩行耐久性の向上や段昇降動作の安定を目標にリハビリへ取り組まれ、当日は不安を抱えながらも、会場で色鮮やかで華やかな花を見るなり満面の笑顔で顔を花に近づけポーズ。目を輝かせ1時間半歩ききり、観覧を終えました。その後は精神面が安定し、翌年には「首里城（復元工程）を見たい」と新たな目標を掲げられました。外出1か月前に転倒・骨折という困難がありましたが、「行きたい」という強い思いが支えとなり、無事に首里城ツアーを満喫、目標を達成されました。

この取り組みは、生き活きとした日々を送るきっかけとなり、主体的なりハビリへの意欲や体力の維持・向上、精神面の安定につながっていると感じています。今後も挑戦を支えながら自立支援へとつなげ、良い循環を生み出していきたいと考えています。

当院では、専門性を高める認定資格を持つ職員が活躍しています。
今回は、新たに認定資格を取得した職員をご紹介します。

Certified Professionals

認定者紹介



回復期リハビリテーション看護師認定
看護師 長濱 友希

このたび回復期リハビリテーション認定看護師の資格を取得いたしました。回復期病棟で働く中で、歩けるようになること、食事を口から食べられるようになること、その人らしさを日々取り戻していく姿を目のあたりにするたびに回復期看護のやりがいを実感しました。看護師3年目で「もっと専門的な視点で関わりたい」と思い、掲げた目標を、このたび達成することが出来ました。回復期看護はチーム全体の力があってこそ成り立つものです。身体のみだけでなく、気持ちの面にも寄り添いながら、多職種と連携し、「できないこと」ではなく「できる力」に目を向け、今後もより質の高い看護が提供できるようチームで取り組んでまいります。

今回、回復期セラピストマネージャーの認定を頂きました。2年ほど前にリーダーになり、管理業務や病棟運営に携わることになったタイミングでの講習への案内がありました。実際に講習を受けながら、全国の様々な回復期病院で管理業務に携わっている方々の話を沢山聞くことができました。共感できる部分も沢山あり、悩みや解決案の共有もできて有意義な講習になりました。認定試験前は、10年以上前に理学療法士 (PT) の国家試験勉強をしていたときの苦しみを思い出してしまうような毎日でしたが、無事合格できて安心しています。今後は今回の講習で得た情報を活かしながら、現場でのマネジメント業務を頑張っていきたいと思っています。



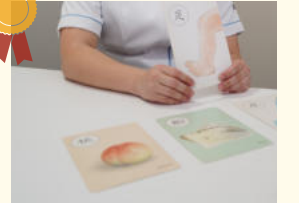
回復期セラピストマネージャー認定
理学療法士 伊波 成



認知症看護認定看護師
看護師 後藤

～2025年12月「認知症看護認定看護師」認定審査に合格いたしました～
日々活躍する認知症看護認定看護師の姿をみて、自分自身も専門性を活かした看護を実践したいと考えるようになりました。現場で、認知症の方々のさまざまな要因からくるストレス反応が行動や症状として出現していることを「意識して関わる」ことの大切さを学びました。2024年認定看護師教育課程に入学し、多くの学びと共に、尊敬できる先生方や仲間、指導者の方に出会いました。多くの方の支えに励まされ、このたびの合格につながることができました。
合格の喜びを胸に、今後は専門性を活かした「実践」「指導」「相談」を通して、認知症ケアの質向上に貢献していきたいです。

回復期セラピストマネージャーの講習に参加し認定を取ることができました。講師の方々もそうですが、同じ回復期で働く方々の話にはとても刺激を受ける良い機会になりました。マネジメント業務もそうですが、災害リハビリテーションや高齢者の多い地域での取り組みに関しては、沖縄県の現状を併せて知るきっかけとなりました。グループワークを通して、管理業務に携わる言語聴覚士 (ST) とのつながりが持ったことも今後の業務を行っていく上での財産となりそうです。今回の研修で得たことを活かし、現場でのマネジメント業務を頑張っていきたいと思えます。



回復期セラピストマネージャー認定
言語聴覚士 内間 沙紀

